

款 8 土木費

項 1 土木管理費

目 1 土木総務費

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
925,784,916 円	924,269,831 円		1,515,085 円

〔一般職給〕	86人	712,083,777 円 (その他特財 37,512,873 円)
〔再任用職給〕	4人	11,691,302 円
〔嘱託職給〕	1人	4,158,747 円

(都市計画課)

〔委員報酬〕	96,000 円
・ 建築紛争調停委員会委員 6人	
〔建築紛争あっせん調停事務費〕	8,620 円

(建築開発課)

目的	建築基準法等に基づき建築物の安全及び良好な住環境とする				
指標	完了検査率	目標	90%	実績	81.4% (15年度 81.2%)
説明	完了検査率の向上が建築物の安全性の確保及び違反建築物の防止に資する観点から重要な課題と捉えて建築主への普及啓発に努めました。工事監理者へのはがきでの通知、督促、さらに建築主の理解を求めめるための通知をし、完了検査率の向上にはつながりましたが目標値には及びませんでした。今後も、個人住宅を中心に案内などの啓発を行い完了検査率の向上に努めます。 また、指定確認検査機関への申請が増加しており、今年度から指定確認検査機関への申請件数を加えた実績、目標としました。				

〔建築指導事務費 (建築確認支援システム)〕	3,277,191 円 (その他特財 3,277,191 円)
〔委員報酬〕	47,400 円
・ 建築審査会委員 7人	

建築確認済証交付件数及び完了検査済証交付件数 ()内は15年度分

	建築物	昇降機	工作物
建築確認済証交付件数	1,276 件 (1,418 件)	53 件 (28 件)	127 件 (90 件)
完了検査済証交付件数	1,019 件 (1,204 件)	52 件 (23 件)	78 件 (84 件)

指定民間確認検査機関の建築確認済証交付件数及び完了検査済証交付件数

	建築物	昇降機	工作物
建築確認済証交付件数	578 件 (403 件)	14 件 (7 件)	5 件 (2 件)
完了検査済証交付件数	500 件 (264 件)	11 件 (6 件)	1 件 (1 件)

完了検査率の推移 (指定確認検査機関との合算による)

	13年度	14年度	15年度	16年度
四日市市	69.2%	81.1%	81.2%	81.4%
全国平均	64.3%	67.6%	70.7%	-

三重県バリアフリーのまちづくり推進条例に基づく協議件数	74件 (60件)
中高層建築物等の建築に係る紛争と調整に基づく届出件数	66件 (65件)
建設リサイクル法に係る届出件数	739件 (538件)

目的	安全な生活空間の確保				
指標	定期報告率	目標	77.0%	実績	76.2% (15年度 75.7%)
説明	<p>多数の人々が利用するような用途及び規模の建築物を常時適法な状態に保ち安全性を確保するためには、維持保全が適正に行われる必要があります。建築物の管理者、所有者へこれらの状態の定期的な報告を求め、保全の指導を行いました。</p> <p>未提出者への督促、再督促によりある程度の効果は現れていますが、未だ不透明な経済状況を反映してか目標値には届いていません。定期報告制度の重要性について、キャンペーン、広報等さまざまな機会を捉えて広く啓発に努めます。</p> <p>また、違反パトロールについては、平成15年度は特定の案件についての監視パトロール等が増加したため実績が100回でした。平成16年度の違反パトロールの目標としては毎月1回のパトロールを掲げておりましたが、通報等による緊急パトロールが多く、最終的には77回となりました。本年度は、建築安全係だけでなく、課内各係の協力体制をとり、毎月1回の建築物の定期パトロールの充実を図っております。</p>				

〔建築指導事務費（定期報告・防災関係・違反建築物等）〕 185,812円（その他特財 185,812円）

建築物等の定期報告率

	15年度	16年度
四日市市	75.7%	76.2%

既存木造住宅無料耐震診断件数	780件 (701件)
既存木造住宅耐震工事補助件数	8件
耐震促進法による耐震改修計画の認定	35件 (25件)
違反パトロールの実施（建築、開発）	77回 (100回)
既存建築物の防災査察（消防、警察、医療関係）	62件 (85件)

目的	建築・開発などに関する情報提供				
指標	メディア等による周知	目標	6回	実績	7回 (15年度 6回)
説明	<p>広く市民への建築防災意識の浸透を図るため、建築物防災週間に合わせてショッピングセンターで建築防災キャンペーンを行うとともに、FMよっかいち等を通じて建築防災に対する意識の向上に努めました。</p> <p>また、市民に建築・開発などに関する情報を提供するために建築開発課のホームページを開設し、市民の建築に関する相談や質問に応じ、建築物等に関する関心や理解を促す市民相談と建築業者等に対しても建築専門相談や講習会を行いました。</p>				

〔建築指導事務費（防災キャンペーン・一般相談等）〕 599,696円（その他特財 599,696円）

防災キャンペーンの実施	4回 (2回)
建築一般相談	月2回 49件 (月2回 43件)
建築専門相談	48件 (65件)

その他経費

〔建築指導事務費〕 8,236,448円 (県支出金 105,000円
その他特財 8,131,448円)

〔全国建築審査会協議会等負担金等〕

618,000 円（その他特財

618,000 円）

（道路整備課）**その他経費**

〔土木積算システム業務費〕

9,109,233 円

（その他特財

4,060,000 円）

（市街地整備・公園課〔旧市街地整備課〕）

目的	安全で快適な住環境の向上				
指標	寄附行為件数 に対する道路 整備件数の率	目標	100%	実績	90.7% (15年度 85%)
説明	狭あい道路対策として道路拡幅用地の寄附を受け道路整備を進めています。 平成16年度には後退用地整備要綱を改正し、建築行為を伴わない土地についても同要綱を適用するものとしました。（平成17年度より施行）				

〔狭あい道路対策費〕

128,333,000 円

狭あい道路後退用地整備事業実績

区 分	寄 付	舗装等の整備	助成金の交付	件 数
件数（件）	161 件	146 件	測量分筆登記	123 件
延長（m）	3,129 m	2,774 m	支障物件除去	65 件
面積（㎡）	2,163 ㎡	2,267 ㎡		

（用地課）

目的	未登記道路・水路の解消				
指標	処理件数	目標	125 筆	実績	119 筆 (15年度 126 筆)
説明	未登記道路・水路を解消するための調査・測量・分筆を行い、権原の取得と所有権移転登記を行った結果、119筆の未登記土地が解消されました。				

〔未登記道路調査事業費〕

25,507,058 円

目的	法定外公共物の譲与申請				
指標	譲与地区数	目標	4 地区	実績	4 地区 (15年度 11 地区)
説明	市内4地区の法定外公共物について譲与が完了し、全地区の譲与が完了しました。また、公図欠落区域の特定作業を行いました。				

〔法定外公共物等特定事業費〕

15,696,967 円

（営繕工務課）

目的	安全で使いやすい公共建築物等を提供する				
指標	工事完成後、概ね1年間 における不具合発生率	目標	0%	実績	2% (15年度 1%)
説明	各部署から依頼された公共建築物等の新築、増築、改修及び設備更新工事の設計、監督を行いました。 この業務を行うに際しては、安全確保はもちろんのこと、コスト縮減、環境負荷の低減に配慮するとともに、バリアフリー化に努めました。不具合発生率については、2%（2件/85件・補修済み）であり、不具合の内容を把握して今後の業務に活かし、不具合率0%達成に努めます。				

〔営繕事務費〕

4,400,580 円

〔公共建築協会等負担金〕

220,000 円

営繕受託業務の状況

区 分	主 な 工 事	計
市長公室関係施設	国際共生サロン整備工事	1件
総務・市民関係施設	市庁舎議場中継システム設置工事 歴史民俗資料館旧庄屋岡田邸整備工事 中部地区市民センターエレベーター改修工事	15件
保健福祉関係施設	中央保育園給食室改修工事 視覚障害者誘導用ブロック敷設工事 磯津保育園トイレ改修工事	10件
環境関係施設	公害資料室整備工事 小山2号線道路改良工事 リサイクルセンター周辺道路整備工事(その2)	8件
商工農水関係施設	北勢公設地方卸売市場組合ゴミ集積棟改修工事 食肉センター汚水処理設備老朽更新工事 競輪場内排水施設改良工事	9件
都市整備関係施設	茂福市営住宅耐震補強工事 富田中公園管理休養施設設置工事 三重団地・坂部が丘・高花平市営住宅住戸改善工事	13件
下水道関係施設	阿瀬知ポンプ場ポンプ室窓建具取替他工事 鎌田排水樋門上屋築造工事 茂福ポンプ場NO.3ポンプ室建具他改修工事	3件
消防関係施設	三重分団車庫新築工事 上海老町耐震性貯水槽設置工事 海蔵分団車庫増築工事	8件
教育関係施設	河原田小学校耐震補強工事 西陵中学校バリアフリー化工事 小学校防犯カメラ設置工事	37件
合 計		104件

項 2 道路橋梁費

目 1 道路橋梁総務費

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
218,589,263円	214,595,989円		3,993,274円

〔一般職給〕 19人 152,358,263円

(都市計画課)

目的	広域幹線道路の整備促進				
指標	広域幹線道路の整備状況	目標	早期整備	実績	国道477号バイパス進捗率 58% (15年度 51%)
説明	第二名神高速道路、東海環状自動車道及び国道1号北勢バイパス並びに国道477号バイパス等の整備促進を図るため、各期成同盟会による国、県、関係機関への要望や啓発イベントを行うとともに、各事業路線の事業進捗のため、地元・関係機関と事業調整を行いました。実績は国道477号バイパスを代表としました。				

路線名	15年度進捗率(進捗状況)	16年度進捗率(進捗状況)
第二名神高速道路	四日市JCT～亀山間整備促進要望(三幹協で要望を行うとともに、経済・市民団体と連携を	四日市JCT～亀山間整備促進要望(三幹協で要望を行うとともに、経済・市民団体と連携を

	図った)	図った)
国道1号北勢バパス	・富田山城線～国道477号バパス間の調査・設計に着手	・大矢知地区において橋梁工事推進(三岐鉄道跨線部) ・富田山城線～国道477号バパス間の調査・設計継続
富田山城線	85%	97%
国道477号バパス	51%	58%

〔負担金〕

- ・三重県北勢地域幹線道路事業促進連絡協議会 1,370,000円
- ・日本道路協会等負担金 1,476,000円
- ・広域基幹道路整備基金積立金 95,042円(その他特財 95,042円)

(管理課)

〔道路台帳整備事業費〕 24,944,850円

(用地課)

目的	道路・河川・水路・公園の官民境界査定				
指標	処理件数	目標	1000件	実績	999件<楠町含む1,004件>
	処理日数		26日		26日 (15年度 886件 27日)
説明	市が管理する道路・河川・水路・公園(官地)と、それに接した土地(民地)との境界線について、現地で立会いを行い確認しました。処理件数、処理日数とも目標を達成しました。				

〔境界査定事業費〕 3,642,229円

その他経費

〔負担金〕 161,300円

- ・用地対策連絡協議会等負担金

目2 道路維持費

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
355,653,595円	349,585,879円		6,067,716円

〔一般職給〕 16人 116,208,406円

〔再任用職給〕 1人 1,416,237円

〔嘱託職給〕 1人 3,099,636円

(道路整備課)

目的	適切な維持管理				
指標	道路損傷発見から対応までの日数	目標	1日以内	実績	1日以内 (15年度 1日以内)
説明	通行の安全性と円滑な道路環境の維持を図りました。 道路パトロール等の日常点検により、ポットホール等の舗装路面損傷個所の早期発見と早期補修に努めました。				

〔道路路面清掃費〕 3,743,250円

〔道路雪氷対策費〕 6,064,150円

〔道路維持修繕費等〕 199,367,965円

(管理課)

〔駐車場案内システム管理運営費〕

11,117,601 円

目3 道路新設改良費

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
1,733,474,230 円	1,499,431,330 円	233,100,000 円	942,900 円

(道路整備課)

〔明許繰越〕

305,945,000 円

〔臨時交付金事業〕

103,920,000 円

事業区分 (施工箇所)	事業内容	実施額	うち特定財源	
・山村平津線 (平津町及び 山分町地内)	委託料 測量・地質調査業務 橋梁予備設計業務 道路詳細設計業務 工事費 橋梁上部工 (3径間連続鋼床版 箱桁) 工場製作工 1式 事務費	103,920,000	国庫支出金 市 債	57,156,000 46,700,000

〔高速道路関連事業〕

6,525,000 円

事業区分 (施工箇所)	事業内容	実施額	うち特定財源	
・伊坂12号線 (伊坂町地内)	委託料 調査登記業務 工事費 L=63.1m W=2.7~4.9m 舗装工 A=174 m ² 擁壁工 L=28.7m 排水工 L=80.0m	6,525,000	県支出金	2,175,000

〔地方特定道路整備事業〕

125,040,000 円

事業区分 (施工箇所)	事業内容	実施額	うち特定財源	
・阿倉川西富田線 (別名五丁目地内)	工事費 L=111.1m W=16.0m 排水工 L=393.6m 付帯工 1式 舗装工 A=1,472 m ² 補償費 物件移転補償 1件 事務費	110,760,000	市 債	99,700,000
・西富田3号線 (富田栄町地内)	用地費 A=49.29 m ² 補償費 物件移転補償 1件	14,280,000	市 債	12,800,000

	事務費			
地方特定道路整備事業 計		125,040,000		112,500,000

〔道路新設改良単独事業〕

5,970,000 円

事業区分 (施工箇所)	事業内容	実施額	うち特定財源	
・萱生跨線橋 (中村町地内)	委託料 三岐鉄道へ委託	5,650,000		
・伊坂12号線 (伊坂町地内)	工事費 L=63.1m W=2.7~4.9m 舗装工 A=174 m ² 擁壁工 L=28.7m 排水工 L=80.0m 事務費	320,000		
道路新設改良単独事業 計		5,970,000		

〔渋滞対策事業〕

64,490,000 円

事業区分 (施工箇所)	事業内容	実施額	うち特定財源	
・六地蔵中川原線 (城北町地内)	工事費 L=169.0m W=12.0m 側溝工 L=139.2m 街渠工 L=258.8m 都市型側溝工 L=26.0m 舗装工 A=2,160 m ² 用地費 A=59.03 m ² 補償費 物件移転補償 1件 事務費	37,068,000		
・日永八郷線 (あかつき台二丁目 及び四丁目地内)	工事費 L=67.0m W=13.0~16.3m 張出歩道擁壁工 L=31.1m 街渠工 L=62.5m 舗装工 A=652 m ² 事務費	4,000,000		
・小杉34号線 (小杉町地内)	用地費 A=100.48 m ² 補償費 物件移転補償 1件 事務費	16,687,000		
・阿倉川西富田線 (富田栄町地内)	用地費 A=1.09 m ² 補償費 物件移転補償 6件	6,735,000		

	事務費			
渋滞対策事業 計		64,490,000		

(道路整備課)

目的	街路及び市内幹線道路の整備			
指標	市内幹線道路の進捗率 (国補事業、地方特定道路整備事業の平均進捗率)	目標	84.0%	実績 78.9% (15年度 72.4%)
説明	快適な市民生活及び円滑な経済活動を支えるための、市内幹線道路ネットワークの整備に取り組んでいます。平成16年度は山村平津線、阿倉川西富田線等の早期整備に努めました。阿倉川西富田線につきましては、北は西富田町から大字西阿倉川までが平成17年度に全線開通する予定となりました。平成16年度の実績については、用地交渉に時間を要したため、目標を下回りました。			

[主要路線事業進捗率]

路線名	事業年度	進捗率
山村平津線	平成 8年度～平成20年度	67.6%
阿倉川西富田線(西富田3号線)	平成14年度～平成17年度	94.6%
大鐘19号線	平成 9年度～平成19年度	77.6%
地特・阿倉川西富田線外2路線	平成 8年度～平成18年度	95.4%
東坂部20号線(環状1号線)	平成16年度～平成18年度	39.3%

[臨時交付金事業]

452,600,000円

事業区分 (施工箇所)	事業内容	実施額	うち特定財源	
・山村平津線 (平津町及び山分町地内)	委託料 建物調査業務 工事費 L=237.5m W=4.5m～14.8m 鋼橋上部架設工1式 (3径間連続鋼床版箱桁、3主桁) 本線道路工 L=49.0m 取付道路工 L=83.0m 用地費 A=664.46㎡ 補償費 物件移転補償 1件 事務費 (一部平成16年度 明許繰越)	170,600,000	国庫支出金 市 債	248,930,000 203,600,000
・大鐘19号線 (伊坂町地内)	工事費 L=25.0m W=11.0m ブロック積工 A=106㎡ 路面排水工 L=41.8m	8,000,000		

	舗装工 A=247 m ² 事務費			
・阿倉川西富田線 (西富田町及び 富田栄町地内)	工事費 L=311.0m W=16.0m 排水工 L=620.0m 函渠工 L=97.0m 舗装工 A=4,770 m ² 用地費 A=1,037.67 m ² 補償費 物件移転補償 5件 事務費	274,000,000		
臨時交付金事業 計		452,600,000		452,530,000

〔地方特定道路整備事業〕

281,680,000 円

事業区分 (施工箇所)	事業内容	実施額	うち特定財源	
・阿倉川西富田線 (別名五丁目地内)	用地費 A=547.03 m ² 補償費 物件移転補償 1件 事務費	57,700,000	市 債	281,600,000
・部田川左岸2号線 (小杉町及び 東坂部町地内)	工事費 L=175.5m W=8.0m 排水工 L=190.5m 自由勾配側溝工 L=120.0m 舗装工 A=2,070 m ² 用地費 A=435.18 m ² 補償費 物件移転補償 1件 事務費 (一部平成16年度 明許繰越)	39,680,000		
・東坂部20号線 (東坂部町地内)	委託料 測量設計業務 建物調査業務 用地費 A=1,388.35 m ² 補償費 物件移転補償 4件 事務費 (一部平成16年度 明許繰越)	137,450,000		
・大矢知富田線 (大矢知町地内)	用地費 A=293.59 m ² 補償費 物件移転補償 2件	46,850,000		

	事務費 (一部平成16年度 明許繰越)			
地方特定道路整備事業 計		281,680,000		281,600,000

〔県営事業負担金〕 13,055,100 円

事業区分 (施工箇所)	事業内容	実施額	うち特定財源	
〔単独〕 ・国道477号線 外7線	負担金	13,055,100	市 債	6,500,000

〔公社健全化事業〕 250,806 円

事業区分 (施工箇所)	事業内容	実施額	うち特定財源	
・新開橋整備事業 用地取得事業	用地費 特別会計繰出金	250,806		

目的	生活道路の整備				
指標	市民アンケート 「不満に思う」「非常に 不満に思う」率の合計	目標	23.0%以下	実績	36.1% (15年度 29.0%)
説明	地域からの要望に応えることにより、道路が良くなっていると実感できるみちづくりに取り組んでいます。平成16年度は重点整備路線として、小山田川島線の早期完成に努めました。本路線の整備が完了することにより、排水不良箇所の改善が図られ、豪雨時の通行止規制が無くなるなど、市民が安心して利用できる道路になるよう努めました。(目標値と実績値に乖離があるのは、平成16年度から市政アンケートの質問項目が変更になり、それまでの「不満あるいは努力が足りないもの」から「不満に思う」「非常に不満に思う」となったため。目標の23%は平成15年度アンケート結果の「不満あるいは努力が足りないもの」の23地区内の最高値です。平成16年度実績の36.1%は、平成16年度アンケート結果における「不満に思う」「非常に不満に思う」の全市割合の合計です。)				

〔道路新設改良単独事業〕(四日市分) 112,760,610 円

事業区分 (施工箇所)	事業内容	実施額	うち特定財源	
・小山田川島線 (川島町地内)	委託料 調査登記業務 測量設計業務 工事費 L=810.0m W=9.77m 側溝工 L=1,535.4m 街渠工 L=799.0m 車道舗装工 A=5,040 m ² 歩道舗装工 A=1,560 m ² 排水施設工 N=1 箇所 (マンホール 150) 放流管渠 1式	42,886,930	市 債	42,800,000

	補償費 配電線路移設補償 1件 (一部平成16年度 明許繰越)			
・東日野15号線 (東日野町地内)	工事費 アカ-設置工 N=6本 シ-ト張工 A=869㎡ 大型土のう設置工 N=46個 動態観測 N=24箇所	7,434,000	市債	7,400,000
・市内一円	委託料・使用料 工事費・補償費 事務費 (一部平成16年度 明許繰越)	62,439,680	市債	22,100,000
道路新設改良単独事業(四日市分) 計		112,760,610		72,300,000

〔道路新設改良単独事業〕(楠分) 28,546,972円

事業区分 (施工箇所)	事業内容	実施額	うち特定財源	
・三鈴樋門楠漁港線 (楠町南五味塚地内)	工事費 L=150.1m ブロック積工 L=139.2m 舗装工 A=880㎡ 防護柵工 L=146.1m	27,401,450	県支出金 その他特財	19,201,160 8,200,290
・市内一円	委託料 用地測量設計業務 工事費 道路改良工	1,145,522		
道路新設改良単独事業(楠分) 計		28,546,972		27,401,450

〔道路局部改良事業〕 29,034,648円

事業区分 (施工箇所)	事業内容	実施額	うち特定財源	
・山田10号線外 (市内一円)	委託料・工事費 原材料・用地費 (一部平成16年度 明許繰越)	29,034,648		

〔道路舗装新設事業〕 7,999,950円

事業区分 (施工箇所)	事業内容	実施額	うち特定財源	
・桜町西3号線外 (市内一円)	工事費 9件	7,999,950		

〔生活密着道路整備事業〕 16,031,850円

事業区分 (施工箇所)	事業内容	実施額	うち特定財源
・桜智積線外 (市内一円)	工事費 9件 狭隘道路拡幅	16,031,850	

目的	市内渋滞ポイントの解消				
指標	路線毎の完了	目標	六地蔵中川原線の整備 (平成16年度)	実績	六地蔵中川原線の整備完了 (15年度 六地蔵中川原線の整備推進)
説明	著しく増大する交通量に対し、交差点部及び狭小区間の改良、バイパス道路の整備を行うことにより交通の分散を図り、渋滞の解消に努めました。平成16年度は六地蔵中川原線の狭小区間の整備が完了するとともに日永八郷線、小杉34号線の交差点改良に着手しました。				

〔渋滞対策事業〕

39,577,330円

事業区分 (施工箇所)	事業内容	実施額	うち特定財源
・六地蔵中川原線 (城北町地内)	委託料 調査登記業務 測量設計業務 工事費 L=169.0m W=12.0m 側溝工 L=139.2m 街渠工 L=258.8m 都市型側溝工 L=26.0m 舗装工 A=2,160 m ²	1,912,590	
・小杉34号線 (小杉町地内)	委託料 調査登記業務 工作物調査業務 工事費 L=58.4m W=7.5m 側溝工 L=131.0m 舗装工 A=490 m ² (一部平成16年度 明許繰越)	3,179,160	
・市内一円	委託料 工事費 事務費 (一部平成16年度 明許繰越)	34,485,580	
渋滞対策事業 計		39,577,330	

目的	安心して通れる歩行空間づくり				
指標	快適に歩ける道路 の整備延長	目標	200.0 m	実績	743.0 m (15年度 392 m)
説明	環境整備事業につきましては、東海道など交通量が多く歩行者への配慮が必要な路線について、蓋付側溝への改良等により安心して歩くことのできる歩行空間づくりを図りました。平成16年度の実績については、交通規制の都合上、集中投資を行うこと				

により必要な整備延長を確保しました。

〔歩道整備事業〕 7,674,450 円

事業区分 (施工箇所)	事業内容	実施額	うち特定財源	
・午起末永線外 (市内一円)	工事費 7件	7,674,450		

〔道路環境整備事業〕 33,262,130 円

事業区分 (施工箇所)	事業内容	実施額	うち特定財源	
・中浜田南浜田線外 (市内一円)	委託料 測量調査設計業務 工事費 17件	33,262,130		

目的	適切な維持管理				
指標	環境数値を超える 路線数	目標	0路線	実績	0路線 (15年度 0路線)
説明	快適な通行と騒音、振動を抑制するために、舗装及び側溝等の維持管理を行いました。				

〔石油交付金事業〕 13,000,000 円

事業区分 (施工箇所)	事業内容	実施額	うち特定財源	
・日永八郷線 (生桑町地内)	工事費 L=114.8m W=6.43m(平均) 舗装工 A=738 m ²	6,917,400	県支出金	12,200,000
・三重橋垂坂線 (阿倉川町及び 羽津山町地内)	工事費 L=181.2m W=5.13m 及び3.5m(平均) 舗装工 A=815 m ²	6,082,600		
石油交付金事業 計		13,000,000		12,200,000

〔道路再舗装工事〕 59,042,985 円

事業区分 (施工箇所)	事業内容	実施額	うち特定財源	
〔一般〕 ・諏訪新道線外 (市内一円)	工事費 16件 事務費	22,042,991		
〔幹線〕 ・西新地久保田線外 (市内一円)	工事費 5件 事務費	36,999,994		
道路再舗装工事 計		59,042,985		

〔道路舗装付帯工事〕 80,000,888 円

事業区分 (施工箇所)	事業内容	実施額	うち特定財源	
----------------	------	-----	--------	--

・大矢知松寺線外 (市内一円)	工事費 62件 負担金 事務費	80,000,888		
--------------------	-----------------------	------------	--	--

(市街地整備・公園課 [旧市街地整備課])

〔地区計画道路整備事業〕 9,949,450円

路線名	事業内容	実施額
小林22号線	道路築造工事 幅員5m 延長187.4m 用地測量 1式	9,949,450

平成15年度に寄付行為を受けた用地について道路整備を行いました。

〔午起土地区画整理事業関連道路整備事業〕 5,378,426円

路線名	事業内容	実施額
午起10号線	用地買収 面積67.27㎡ 用地測量等 1式	5,378,426

国道23号高浜交差点の改良工事に必要な用地を取得しました。

(管理課)

〔私道整備補助金〕 2,400,000円
・茂福町地内外

目4 橋梁維持費

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
16,560,000円	16,077,600円		482,400円

目的	適切な維持管理				
指標	老朽化等による長期通行止の箇所数	目標	2箇所以下	実績	2箇所 (15年度 2箇所)
説明	横断歩道橋の高欄補修、高架橋路肩部への反射板の設置等により、橋梁施設の保全を図るなど維持補修に努めました。				

〔橋梁修繕工事費〕 16,077,600円

目5 橋梁新設改良費

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
152,349,000円	147,349,000円	2,989,350円	2,010,650円

〔明許繰越〕 49,349,000円

〔橋梁整備単独事業〕 49,349,000円

事業区分 (施工箇所)	事業内容	実施額	うち特定財源
・萱生跨線橋 (中村町地内)	委託料 三岐鉄道委託	49,349,000	

目的	橋梁の維持管理				
指標	萱生跨線橋の進捗率	目標	85.1%	実績	84.7% (15年度 54.3%)
説明	近い将来発生が危惧されている東海・東南海・南海地震等の大規模地震災害に備え、市街地や主要路線上の老朽橋及び耐荷力の不足している橋梁の耐震、老朽度の調査を進め、的確な工事を順次実施します。また、平成11年度から実施している萱生跨線橋の整備促進に努めた結果、平成17年度に完成する見込みとなりました。				

〔橋梁整備単独事業〕 98,000,000 円

事業区分 (施工箇所)	事業内容	実施額	うち特定財源	
・萱生跨線橋 (中村町地内)	委託料 三岐鉄道へ委託 (平成16年度 明許繰越)	98,000,000	市 債	88,200,000

項3 交通安全対策費

目1 交通安全対策総務費

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
157,020,238 円	154,423,654 円		2,596,584 円

〔一般職給〕 5人 46,845,960 円
 〔嘱託職給〕 1人 2,469,922 円

(管理課)

目的	交通安全の啓発				
指標	交通事故件数	目標	11,000 件未満	実績	12,224 件 (15年中 12,101 件)
説明	平成16年中の交通事故は、昨年より123件増加し、死亡事故も9人増の23人と悪化しました。死亡者の内訳を見ると65歳以上の高齢者が11人を占めており、昨年度以上に子どもと高齢者、地域ぐるみ等の誰もが参加する活動に重点を置き、関係機関、団体が一致協力した活動を展開します。				

〔交通安全啓発推進費〕 10,280,254 円

< 参 考 > 交通事故発生状況 (県警本部交通統計による。歴年)

区 分	8年	9年	10年	11年	12年	13年	14年	15年	16年
発生件数(件)	11,891	12,398	11,539	11,686	11,870	12,134	11,775	12,101	12,224
人身事故	件数(件)	1,917	1,902	1,871	2,043	2,187	2,188	2,232	2,512
	死者(人)	27	25	22	27	26	20	18	23
	傷者(人)	2,409	2,412	2,337	2,586	2,762	2,817	2,930	3,194
人口10万人以上の都市で人口10万人当たりの死者数全国順位(位)	27	40	50	29	28	61	74	101	20

目的	放置自転車の解消				
指標	放置自転車の撤去台数	目標	2,000 台未満	実績	2,040 台 (15年度 2,068 台)

説明	四日市市自転車等放置防止条例に基づき、放置自転車等の巡視、指導、撤去等を実施するとともに、関係機関等と協力して駐輪マナー等の啓発活動を実施しました。
〔放置自転車対策事業費〕	35,004,395 円（その他特財 1,972,670 円）

その他経費

〔違法駐車対策事業費〕	2,446,077 円
〔四日市市交通安全協議会補助金〕	6,000,000 円
〔交通災害共済事業特別会計繰出金〕	64,338 円
〔負担金〕	20,000 円
三泗地区交通安全対策協議会	

（道路整備課）

〔交通安全施設等管理費〕	51,292,708 円（その他特財 144,000 円）
--------------	-------------------------------

目 2 交通安全施設整備費

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
141,306,575 円	140,985,025 円		321,550 円

目的	安心して通れる歩行空間づくり		
指標	歩道の整備延長	目標	実績
		1,200m (平成 20 年度)	堀木日永線 315m (15 年度 西新地久保 田線 392m の整備完了)
説明	市民誰もが安心して社会参加でき、快適に暮らせる社会環境を確保した歩行空間づくりのため、平成 20 年度を目処に堀木日永線、赤堀山城線、四日市中央線の一部において延長 1,200 m の自転車及び歩行者道の整備を計画しております。平成 16 年度の実績としては、堀木日永線を 315 m 整備しました。また、市内全域において防護柵等の交通安全施設について整備を進めました。		

〔主要路線事業進捗率〕

路線名	事業年度	進捗率
堀木日永線外 2 線 (歩道・自転車歩行者道整備)	平成 16 年度～平成 20 年度	16.7%

〔交通安全施設整備補助事業〕

50,000,000 円

事業区分 (施工箇所)	事業内容	実施額	うち特定財源	
・堀木日永線 (堀木一丁目 他 3 町地内)	工事費 L=315.0m W=16.0m 側溝工 L=623.2m 舗装工 A=4,785 m ² 事務費	50,000,000	国庫支出金 市 債	27,500,000 9,000,000

〔交通安全施設整備単独事業〕

90,985,025 円

事業区分 (施工箇所)	事業内容	実施額	うち特定財源	
・泊塚原 2 号線 (大字日永地内)	工事費 L=106.0m 歩道整備工	4,522,350		

・三重橋垂坂線 (羽津山町外地内)	工事費 L=332.0m 歩道整備工	4,069,800		
・市内一円	委託料 測量設計業務 工事費 歩道整備工 L=623.0m 待避所設置工 L=20.0m 区画線工 L=22,304.0m その他交通安全 施設工 1式 事務費	82,392,875		
交通安全施設整備単独事業 計		90,985,025		

項4 河川費

目1 河川総務費

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
102,912,377 円	99,759,695 円	0 円	3,152,682 円

〔明許繰越〕 10,395,000 円
〔河川台帳整備事業〕 10,395,000 円

事業区分 (施工箇所)	事業内容	実施額	うち特定財源
・河川台帳整備 (準用河川萱生川他 6河川)	河川加圧作成	10,395,000	

〔一般職給〕 3人 25,017,377 円

(河川排水課〔旧公園・河川課〕)

目的	河川・排水路等の適正な維持			
指標	維持補修率	目標	8.1%	実績 8.6% (15年度 8.1%)
説明	災害等緊急事態に河川・排水路・調整地等の能力が発揮できるように維持管理に努めました。			

〔河川等維持修繕費〕 36,947,828 円

市管理河川・排水路

	河川・排水路数	管理総延長(m)
市管理河川	93	119,653 m
うち準用河川	23	50,893 m
排水路	970	215,800 m

〔河川台帳整備事業費〕 5,250,000 円

〔樋門管理費〕	2,454,630 円	(国庫支出金 665,278 円)	(県支出金 654,470 円)
〔調整池管理費〕	14,929,950 円		
〔負担金〕	708,950 円		
・三重県河川協会等負担金			

目 2 河川改良費

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
304,894,155 円	281,469,890 円	21,115,960 円	2,308,305 円

〔明許繰越〕 13,094,000 円
〔準用河川改修事業〕 12,600,000 円

事業区分 (施工箇所)	事業内容	実施額	うち特定財源	
・朝明新川 (中村町地内)	工事費 L = 7.5 m 植生ﾌﾞｯｸ工 A = 64.94 m ² 急流工 一式	12,600,000	国庫支出金 市 債	4,200,000 3,300,000

〔河川改良事業〕 494,000 円

事業区分 (施工箇所)	事業内容	実施額	うち特定財源	
・朝明新川	工事費 一式	494,000		

(河川排水課〔旧公園・河川課〕)

目的	治水事業の推進				
指標	河川整備率 (準用河川の整備率)	目標	52.3%	実績	52.3% (15年度 52.0%)
説明	治水事業は、市民の生命・財産を守るうえからも最優先に実施しなければならない事業であり、本年度も準用河川改修事業、河川改良事業、排水路改良事業等を実施しました。				

〔準用河川改修事業〕 99,000,000 円

事業区分 (施工箇所)	事業内容	実施額	うち特定財源	
・米洗川中流 (別名六丁目及び大字羽津)	委託料 工事費 L = 42.4m 護岸植生ﾌﾞｯｸ工 A = 344.6 m ² 間知ﾌﾞｯｸ工 A = 28.1 m ² 小口止工 5箇所 用地費 91.03 m ² 事務費	30,000,000	国庫支出金 市 債	10,000,000 15,000,000
・朝明新川 (中村町地内)	工事費 L = 69.0m 植生ﾌﾞｯｸ工 A = 469.2 m ² 魚巣ﾌﾞｯｸ工 A = 158.7 m ² 補償費 一式 事務費	45,000,000	国庫支出金 市 債	15,000,000 22,500,000

・古城川 (中野町)	工事費 L = 44.3m 護岸植生ﾌﾞｯｸ工 A = 142.1 m ² 魚巣ﾌﾞｯｸ工 A = 67 m ² 間知ﾌﾞｯｸ工 A = 84.5 m ² 事務費	24,000,000	国庫支出金 市 債	8,000,000 12,000,000
準用河川改修事業計		99,000,000		82,500,000

〔半谷川河川改修事業費〕 8,375,880 円

事業区分 (施工箇所)	事業内容	実施額	うち特定財源	
・半谷川 (中村町及び平津町地内)	委託料 測量設計業務一式 工事費 プﾝﾌﾞ 水路工 L = 52.6 m 用地費 287.05 m ² (一部平成16年度明許繰越)	8,375,880	市 債	8,300,000

〔排水対策事業費〕 32,802,040 円

事業区分 (施工箇所)	事業内容	実施額	うち特定財源	
・十四川 (大字茂福地内)	委託料 測量設計業務一式 工事費 嵩上げ 1652.7m 他 不動産鑑定 事務費	32,802,040	市 債	29,500,000

〔高速道路関連事業費〕 2,100,000 円

事業区分 (施工箇所)	事業内容	実施額	うち特定財源	
・千代田町排水路改良 (千代田町地内)	委託料 測量設計業務委託 一式 事務費	2,100,000	県支出金	700,000

〔河川市単独事業費〕 123,697,970 円

事業区分 (施工箇所)	事業内容	実施額	うち特定財源	
・河川改良事業 市内一円	委託料 一式 工事費 一式 補償費 一式 (一部平成16年度明許繰越)	56,960,703	市 債	54,600,000
・排水路改良事業 市内一円	委託料 一式 工事費 一式	58,382,355	市 債	55,900,000
	市単独事務費	8,354,912		
河川市単独事業 計		123,679,970		110,500,000

〔県営事業負担金〕 2,400,000 円

事業区分 (施工箇所)	事業内容	実施額	うち特定財源	

〔単独〕 急傾斜地 東日野、東坂部地区	負担金（県事業費の20%）	2,400,000		
---------------------------	---------------	-----------	--	--

項5 港湾費

目1 港湾総務費

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
1,440,899,000	1,440,773,104		125,896

目的	四日市港管理組合と連携を図る。				
指標	港の経済効果	目標	7,117億円 (平成22年度)	実績	関連純生産額5,584億円 (平成12年度)
説明	四日市港では中枢国際港湾として一層の機能向上を図るため、霞ヶ浦地区に国際海上コンテナターミナル-14m岸壁及び泊地の整備など外貿機能の強化を推進するとともに、海上人命安全国際条約に対応するため保安対策施設の整備を進めました。また、内貿岸壁の整備や運河地区水門の改良、護岸の補強など安全対策に取り組みました。さらに、富双地区について緑地・親水空間の整備を実施しました。				

〔一般職給〕	2人	22,435,000円
〔港湾事務費〕		245,634円
〔四日市港管理組合負担金〕	(特別負担金9,755,735円を含む)	
		1,417,621,470円
〔三重県港湾協会負担金〕		350,000円
〔港湾都市協議会等負担金〕		121,000円

項6 都市計画費

目1 都市計画総務費

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
277,300,001円	263,630,576円		13,669,425円

〔一般職給〕	16人	134,769,351円	（その他特財 7,824,290円）
--------	-----	--------------	--------------------

（都市計画課）

目的	均衡のとれた土地利用を進める				
指標	条例制定	目標	開発許可基準に関する条例制定	実績	平成16年12月制定
説明	市街化調整区域内で市街化促進の恐れが少ない開発行為については、開発審査会提案基準を設けて運用してきたが、都市計画法の改正に伴って条例による取り扱いが可能となったことから、開発許可の運用をより明確にし、手続きの透明性を確保するため、開発許可基準に関する条例制定を行いました。				

〔委員報酬〕	189,600円
・都市計画審議会委員15人	
〔都市計画マスタープラン事業費〕	336,000円
〔土地利用計画策定調査費〕	4,484,260円

〔都市計画策定費〕	252,000 円
〔都市計画基本図修正事業〕	15,364,650 円
〔都市計画情報提供事業費〕	176,400 円

目的	鉄道の維持確保及び利便性の向上を図る				
指標	三岐鉄道利用者数	目標	利用者数の維持	実績	対前年度 0.4% (10,801 人) 増 (15 年度 対前年度 0.3%減)
説明	厳しい経営状況にある地方中小鉄道（三岐鉄道）において、地域住民が安心して利用できる低廉で良好な鉄道輸送サービスを実現するため、安全性向上設備等に対する支援、具体的には保々駅構内の重軌条化、及び駅舎のバリアフリー化等への支援を行ないました。				

〔鉄道軌道近代化設備整備費補助金〕	2,933,148 円
〔負担金〕	
・三重県鉄道網整備促進期成同盟会他	240,000 円

目的	バス交通網の維持・充実を図る				
指標	バス路線数	目標	路線数維持	実績	25 路線 (15 年度 25 路線)
説明	公共交通空白地域や、交通不便地域の市民の移動手段を確保するため、引き続き市が経費を負担してバス事業者に委託する自主運行バスを運行しました。 なお、自主運行路線「山城富洲原線」において一部路線の見直しを行い、市内方向への公共交通がない伊坂台に乗り入れることで、公共交通不便地域の解消と利用者増に努めました。 三重交通「霞ヶ浦線」を第 3 種生活路線維持費で支援していますが、平成 17 年 9 月で補助期間が満了することから、その後の運行について関係機関等と協議を行ない、今後も利用者増が望めないため平成 17 年度当初をもって廃止する方針を打ち出しました。 NPO が運行する「生活バスよっかいち」に対して補助金を交付し、市民協働による新たな公共交通の存続支援を行いました。				

〔自主運行バス補助〕	32,546,192 円	（県支出金 5,460,000 円）
〔第 3 種生活路線維持費補助〕	2,184,000 円	（県支出金 1,092,000 円）
〔市民運行バス支援事業費〕	3,600,000 円	

目的	市民と協働のまちづくりをする				
指標	まちづくり構想の策定地区数	目標	5 地区 (18 年度までに)	実績	2 地区策定支援
説明	まちづくり市民活動の啓発・支援については、のべ 37 回の説明会等を実施しました。また、橋北、県の 2 地区では、住民の主體的な活動を支援しながら、地域まちづくり構想の策定を進めました。その他、本町通り周辺の住みやすい環境づくりを行うため、まちづくり協議会を立ち上げ、住民、行政、大学の 3 者が協働してまちづくりの検討を行いました。				

〔まちづくり活動支援事業〕	1,644,970 円
---------------	-------------

目的	都心居住を進める				
指標	中部地区の人口	目標	23,639 人 (18 年度までに)	実績	23,499 人 (15 年度 23,509 人)
説明	諏訪新道第 3 地区において実施する敷地の共同化による優良建築物整備事業については、街づくり協議会への支援を継続するとともに、補助申請のための調査を実施し、17 年度からの事業化につなげました。				

〔誘導整備地区等共同化推進事業〕	890,000 円
------------------	-----------

目的	里山を市民の手で保全する活動を支援				
指標	里山保全活動団体支援数	目標	3 団体 (18 年度)	実績	1 団体

説明	里山保全については、15年度に実施した市内活動団体へのヒアリング結果を生かして、市民緑地制度の立ち上げを行い、1団体への活動支援を行いました。
----	---

〔里山保全事業〕 499,800円

その他経費

〔負担金〕

- ・都市計画協会負担金 240,000円
- ・三重県都市計画協会等負担金 685,000円

(建築開発課)

〔委員報酬〕 96,000円(その他特財 96,000円)

- ・開発審査会委員 7人

〔全国開発指導行政等推進・連絡協議会等負担金〕 175,800円

開発行為の許可申請件数(都市計画法第29条)	104件 (87件)
完了検査件数	87件 (89件)

〔開発指導事務費〕 2,441,770円(その他特財 2,441,770円)

(管理課)

〔ふれあいモール維持管理費〕 5,589,198円(その他特財 2,831,277円)

〔近鉄高架下土地管理費〕 43,609,787円(その他特財 12,184,110円)

目2 土地区画整理費

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
1,101,941,000円	1,101,941,000円		0円

一般会計から土地区画整理事業特別会計に繰り出しました。(都市計画税充当額 175,120,000円)

目3 街路事業費

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
1,769,093,957円	1,390,882,387円	375,715,000円	2,496,570円

〔明許繰越〕 11,900,000円

〔地方特定道路整備事業〕 2,400,000円

事業区分 (施工箇所)	事業内容	実施額	うち特定財源	
・堀木日永線 (赤堀二丁目地内)	負担金 下水道事業会計 への負担金 (水路工 L=16.7m) 事務費	2,400,000	市	債 2,100,000

〔街路単独事業〕 9,500,000円

事業区分 (施工箇所)	事業内容	実施額	うち特定財源	
・堀木日永線 (赤堀二丁目地内)	負担金 下水道事業会計 への負担金 (水路工 L=65.9m) 事務費	9,500,000	市 債	9,500,000

目的	街路及び市内幹線道路の整備				
指標	街路整備の進捗率	目標	65.7%	実績	64.8% (15年度 57.0%)
説明	快適な市民生活並びに円滑な経済活動が行なえるよう、市内の道路ネットワークを構築するため、幹線街路の整備に努めました。				

〔主要路線事業進捗率〕

路線名	事業年度	進捗率
堀木日永線	平成 8年度～平成 17年度	99.5%
阿倉川西富田線	平成 8年度～平成 17年度	93.0%
千歳町小生線	平成 14年度～平成 20年度	42.3%
環状1号線	平成 16年度～平成 20年度	1.9%

〔街路補助事業〕

700,005,000 円

事業区分 (施工箇所)	事業内容	実施額	うち特定財源	
〔臨時交付金〕 ・千歳町小生線 (城東町外地内)	委託料 建物調査業務 埋蔵文化財発掘 調査業務 工事費 L=245.0m W=22.0m 舗装工・排水工 付帯工 1式 用地費 A=1,436.84 m ² 補償費 物件移転補償 10件 事務費 (一部平成 16年度 明許繰越)	438,250,000	国庫支出金 市 債	374,627,000 306,500,000
・堀木日永線 (赤堀二丁目外地内)	工事費 L=280.0m W=16.0m 舗装工・排水工 道路附属施設工 付帯工 1式 用地費 A=436.84 m ² 補償費 物件移転補償 2件	183,510,000		

	事務費 (一部平成16年度 明許繰越)			
・環状1号線 (垂坂町外地内)	委託料 測量調査設計業務 建物調査業務 事務費 (一部平成16年度 明許繰越)	59,380,000		
	臨時交付金事業 計	681,140,000		681,127,000
[まちづくり交付金] ・近鉄三岐富田駅前 広場整備事業 (富田四丁目外地内)	委託料 概略設計業務 事務費 (一部平成16年度 明許繰越)	18,865,000	国庫支出金 市 債	7,546,000 11,319,000
	まちづくり交付金事業 計	18,865,000		18,865,000
	街路補助事業 計	700,005,000		699,992,000

〔地方特定道路整備事業〕

328,690,000 円

事業区分 (施工箇所)	事業内容	実施額	うち特定財源	
・阿倉川西富田線 〔阿倉川工区〕 (大字西阿倉川地内)	委託料 建物調査業務 工事費 排水工 L=145.0m 用地費 A=1,197.35 m ² 補償費 物件移転補償 8件 事務費 (一部平成16年度 明許繰越)	239,360,000	市 債	328,600,000
・千歳町小生線 (城東町外地内)	委託料 建物調査業務 工事費 L=35.0m W=22.0m 舗装工・排水工 付帯工 1式 用地費 A=189.44 m ² 補償費 物件移転補償 2件 事務費 (一部平成16年度 明許繰越)	89,330,000		

地方特定道路整備事業 計	328,690,000		328,600,000
--------------	-------------	--	-------------

〔街路単独事業〕 285,192,957 円

事業区分 (施工箇所)	事業内容	実施額	うち特定財源	
<ul style="list-style-type: none"> ・堀木日永線 ・阿倉川西富田線 ・千歳町小生線 ・環状1号線 ・環境整備委託他 	委託料 測量調査設計業務 環境整備業務 工事費 付帯工 環境整備工 用地費 A=30.01 m ² 補償費 物件移転補償 事務費 (一部平成16年度 明許繰越)	285,192,957	市 債 都市計画税	219,900,000 32,168,000

〔県営事業負担金〕 48,449,999 円

事業区分 (施工箇所)	事業内容	実施額	うち特定財源	
〔公共〕 ・富田山城線 外1線	負担金	37,833,333	市 債	8,200,000
〔単独〕 ・富田山城線 外1線	負担金	10,616,666		
県営事業負担金 計		48,449,999		8,200,000

〔公社健全化事業〕 8,869,931 円

事業区分 (施工箇所)	事業内容	実施額	うち特定財源	
・堀木日永線	用地費 特別会計繰出金	3,244,144		
・阿倉川西富田線	用地費 特別会計繰出金	126,144		
・赤堀山城線	用地費 特別会計繰出金	590,654		
・環状1号線	用地費 特別会計繰出金	1,697,758		
・富田本町線	用地費 特別会計繰出金	591,722		
・橋北中学校 (高浜陶栄線)	用地費 特別会計繰出金	2,619,509		
公社健全化事業 計		8,869,931		

目4 公園管理費

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
478,729,690 円	474,296,544 円		4,433,146 円

〔一般職給〕 11人 98,996,690 円

(都市計画課)

目的	市民の手による緑化の推進				
指標	緑化事業参加団体数	目標	50 団体 (18 年度)	実績	35 団体 (15 年度 27 団体)
説明	花と緑いっぱい事業補助金については、35 団体に補助を行い、平成 15 年度の 27 団体から 8 団体増加しました。35 団体のうち 9 団体が新規取り組み団体です。				

〔花と緑いっぱい事業〕 7,606,419 円 (その他特財 6,845,724 円)

〔緑化基金積立金〕 5,555,440 円 (その他特財 4,115,440 円)

(市街地整備・公園課 [旧公園・河川課])

目的	公園愛護活動の推進				
指標	公園愛護会設置率	目標	74%	実績	72.7% (15 年度 71.3%)
説明	公園ボランティア団体の活動支援のため清掃用具等の支給を行い、維持管理のための効果的な予算の執行に努めました。また、中央緑地の苗圃において花苗を育成し、公園や街路を四季の花で飾り、より変化のある景観づくりに努めました。さらに、南部丘陵公園内のバラ園の育成に 32 人のボランティアの参加を募ることができました。				

〔公園愛護会育成費〕 3,374,239 円

目的	公園及び街路樹の適正な維持管理				
指標	苦情対応件数	目標	450 件	実績	406 件 (15 年度 451 件)
説明	安全で快適な公園の維持管理及び街路樹の健全な育成と景観向上に努めました。				

〔公園施設管理費〕 320,866,977 円 (その他特財 4,574,461 円)

〔公園施設安全対策費〕 4,368,000 円

〔公園施設維持補修費〕 29,409,882 円

その他経費

〔公園緑地協会負担金〕 113,000 円

種別	開設箇所	開設面積	備考
公園緑地	347	268.7ha	うち街区公園 288 箇所
街路樹	46 路線	約 10,000 本	四日市中央線 金場新正線 四日市西町線 外

目 5 公園建設費

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
603,440,003 円	602,872,669 円		567,334 円

目的	公園及び緑地事業の推進				
指標	市民1人当たりの供用面積	目標	9.06 m ² /人	実績	9.11 m ² /人 < 9.05 m ² /人 > (15年度 9.021 m ² /人)
説明	南部丘陵公園南ゾーンにおける基盤整備を推進し、早期の供用開始を図ると共に、バスや障害者対応の駐車場を増設し利用者の利便性向上に努めました。 ワークショップ方式により住民参画で計画づくりを行った富田中公園は、平成16年度で整備が完了し供用を開始しました。				

〔公園緑地整備補助事業費〕

54,000,000 円

事業区分 (施工箇所)	事業内容	実施額	うち特定財源	
・南部丘陵公園整備事業 (西日野町外地内)	工事費 公園整備工 管理休養施設工 修景施設設置工 照明灯設置工 事務費	54,000,000	国庫支出金 市 債	27,000,000 24,300,000

〔都市公園等一体整備促進事業費〕

54,000,000 円

事業区分 (施工箇所)	事業内容	実施額	うち特定財源	
・南部丘陵公園整備事業 (西日野町外地内)	工事費 さく井設備工 広場整備工 管理休養施設工 事務費	54,000,000	市 債	54,000,000

〔街区公園等整備事業費〕

21,069,300 円

事業区分 (施工箇所)	事業内容	実施額	うち特定財源	
・富田中公園整備事業 (富田三丁目地内)	工事費 管理休養施設 1棟 遊具 1基 ベンチ 3基 植樹 1式	21,069,300	市 債	20,300,000
・街区公園等整備事業費		21,069,300		20,300,000

〔公園緑地整備単独事業費〕

447,260,852 円

事業区分 (施工箇所)	事業内容	実施額	うち特定財源	
・中央緑地改修工事 (日永東一丁目地内)	工事費・ポンプオーバーホール	5,197,500	都市計画税	82,514,000
・市内一円の公園緑地	工事費 委託費・調査設計	14,741,160		
・大気汚染対策緑地償還金	羽津山緑地事業費償還 楠中央公園(公園緑地譲受費)	264,163,020 139,749,919		
・北勢中央公園建設負担金	県公共事業費負担金 県単独事業費負担金	10,766,200 5,956,800	市債	9,600,000
・市単独事務費		6,686,253		
公園緑地整備単独事業費 計		447,260,852		92,114,000

〔緑帯沿道整備事業費〕

8,982,750 円

事業区分 (施工箇所)	事業内容	実施額	うち特定財源
・緑帯沿道整備事業	花壇植栽委託 5箇所	8,982,750	

〔公社健全化事業費〕 14,860,318 円

事業区分 (施工箇所)	事業内容	実施額	うち特定財源
・富田中公園用地取得事業費	特別会計繰出金	2,098,580	
・南部丘陵公園用地取得事業費	特別会計繰出金	12,761,738	
公社健全化事業 計		14,860,318	

(市街地整備・公園課〔旧市街地整備課〕)

〔公社健全化事業費〕 2,699,449 円

事業区分 (施工箇所)	事業内容	実施額	うち特定財源
・安島児童公園用地取得事業費	特別会計繰出金	2,699,449	

項7 下水道費

目1 下水道整備費

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
8,514,512,000 円	8,514,512,000 円		0 円

一般会計から公営企業下水道事業会計に支出しました。(都市計画税充当額 1,962,613,179 円)

〔負担金〕

・下水道雨水処理費 5,585,169,000 円

〔補助金〕

2,929,343,000 円

・下水道汚水処理費基準内 892,635,000 円

・下水道汚水処理費基準外 2,036,708,000 円

項8 住宅費

目1 住宅管理費

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
582,074,225 円	571,259,830 円		10,814,395 円

〔一般職給〕 9人 77,136,144 円 (その他特財 77,136,144 円)

〔再任用職給〕 1人 3,280,532 円 (その他特財 3,280,532 円)

〔嘱託職給〕 1人

3,091,916円（その他特財 3,091,916円）

〔都市計画課〕

目的	快適な住環境の整備を進める				
指標	特定優良賃貸住宅供給累積戸数	目標	212戸 (18年度までに)	実績	192戸 (15年度 176戸)
説明	特定優良賃貸住宅については、1団地（16戸）の建設費補助を行いました。また、62戸を対象に家賃の一部に対する補助と、総管理団地数7団地のうち3団地に対して、住宅金融公庫からの借入利子に対するの利子補給補助を行いました。住宅整備資金の融資制度については、勤労者住宅支援資金貸付制度発足後、平成15年度までに69件の貸付けを行いました。金融機関の低金利住宅融資制度の普及により、平成16年度の新規貸付は1件5,000千円にとどまりました。				

〔住宅整備資金融資貸付金〕

169,994,000円

事業区分	事業内容	実施額	うち特定財源	
勤労者住宅支援資金	新規貸付件数 1件 (累積貸付件数 70件)	154,689,000	その他特財	169,994,000
勤労者持家促進資金	協調期間中（平成17年度まで）	11,598,000		
勤労者住宅取得資金	協調期間中（平成17年度まで）	3,707,000		
住宅整備資金融資貸付金 計		169,994,000		169,994,000

〔特定優良賃貸住宅供給促進事業費〕

56,847,920円

事業区分 (施工箇所)	事業内容	実施額	うち特定財源	
建設費補助 (ベレーザ末永)	1団地 16戸	38,396,000	国庫支出金	19,198,000
			県支出金	9,574,000
家賃対策補助 (プラスティ西浦外5団地)	対象戸数 62戸	6,297,920	国庫支出金	3,012,000
			県支出金	1,486,000
建設費利子補給 (レジナス・ロックフェラー外2団地)	補助金	12,154,000	県支出金	6,077,000
特定優良賃貸住宅供給促進事業費 計		56,847,920		39,347,000

〔住情報提供推進事業〕

134,200円

〔市営住宅課〕

目的	維持修繕費用の適正化				
指標	適正な修繕費用	目標	250,000千円/年以内	実績	220,782千円 (15年度 237,838千円)
説明	維持修繕については、前年に比べ、一般修繕が61件増加しましたが、空家修繕が53件減少したため、全体の修繕金額は減少しています。入居者の生活に支障をきたさないように、迅速かつ合理的に維持管理しました。				

〔市営住宅維持補修費〕

140,786,752円

事業区分 (施工箇所)	事業内容	実施額	うち特定財源	
・一般修繕 (三重団地外 1387件)	雨漏り、水漏れ修理 下水管貫通、樹木の剪定等	80,918,065	国庫支出金	22,423,000
			その他特財	118,363,752

・空家修繕 (三重団地外 172 件)	空家の修理	54,377,687		
・市内一円	保守点検委託、保険料等	5,491,000		
維持補修費 計		140,786,752		140,786,752

〔市営住宅整備事業費〕 66,082,464 円

事業区分 (施工箇所)	事業内容	実施額	うち特定財源	
・サッシ改良工事 (あさけが丘団地)	木製建具をアルミ建具に取替	18,845,064	国庫支出金	7,583,000
・電気容量改良工事 (あさけが丘団地)	20Aから30Aに改良	4,200,000	その他特財	56,117,464
・屋根葺替工事 (坂部が丘団地)	平型屋根スレート葺きに変更	21,925,050		
・屋上防水工事 (三重団地)	シート防水に全面改修	9,203,250		
・市内一円	三重団地手摺塗装他	11,909,100		
整備事業費 計		66,082,464		63,700,464

目的	市営住宅のバリアフリー化				
指標	高齢者・障害者対応 住宅供給戸数	目標	266 戸 (18 年度)	実績	216 戸 (15 年度 131 戸)
説明	高齢者対応住宅を4戸、車椅子対応住宅を1戸、既存住宅を改善し供給しました。なお、大瀬古新町団地の建替分80戸の内78戸は高齢者対応、2戸は障害者対応となっています。また、単身高齢者の募集枠を13戸確保しました。				

〔高齢者・障害者向け改善事業費〕 13,912,500 円

事業区分 (施工箇所)	事業内容	実施額	うち特定財源	
・高齢者・障害者向け 改善工事 (三重団地外)	工事請負費 高齢者向4戸 障害者向1戸	13,912,500 円	国庫支出金	4,291,000
			その他特財	9,621,500

目的	市営住宅使用料の滞納整理				
指標	現年度収納率	目標	88.00% (16 年度)	実績	88.19% (15 年度 85.70%)
説明	家賃滞納問題については、入居者が低額所得者であるという実情を考慮し、個々の状況を勘案しながら納付指導を行うとともに、その徴収に当たっては督促・呼び出し・訪宅等の方法をもって厳しく対処し、誠意のみられない者については明渡し請求等の法的措置(15年度訴訟3件の内、1件を執行)を行いました。 市営住宅家賃の収納率は現年度分 88.19%、過年度分は 11.51%でした。				

〔弁護士報酬金〕 訴訟手続費用 662,541 円 (その他特財 662,541 円)

その他経費

〔委員報酬〕 102,700 円 (その他特財 102,700 円)

・市営住宅入居者選考委員会委員 8人			
〔市営住宅整備基金積立金〕	10,706円	(その他特財	10,706円)
(平成9年12月設置 本年度末現在高 95,878,800円)			
〔住宅新築資金等貸付事業特別会計繰出金〕	28,510,000円		
〔負担金〕日本住宅協会	52,500円	(その他特財	52,500円)
〔管理人報償金〕	3,865,365円	(その他特財	3,865,365円)

目2 住宅建設費

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
991,263,775円	979,301,539円	3,245,950円	8,716,286円

目的	採算性を考慮した市営住宅の建替				
指標	市営住宅建替戸数	目標	120戸 (17年度)	実績	80戸 (15年度 0戸)
説明	大瀬古新町団地におけるPFI的手法による市営住宅建替事業の一環として、本年度はコンサルタントの助言のもと工事のモニタリングを実施し、1期工区の住宅(80戸)が完成するとともに63世帯の従前入居者(大瀬古新町団地及び永宮町団地の1期移転希望者)が移転いたしました。永宮町団地の住宅を一部除却いたしました。 なお、2期工区では平成17年12月頃に40戸の住宅が完成し、永宮町の残りの入居者が移転する計画です。				

〔大瀬古新町市営住宅建設事業費〕 924,284,844円

事業区分 (施工箇所)	事業内容	実施額	うち特定財源	
・1期市営住宅の買取	公有財産購入費 事務費	901,616,780	国庫支出金	460,387,000
・入居者の移転、仮住居補償	家賃補償費・移転補償金	20,568,064	市債	454,600,000
・PFI的事業アドバイザー業務	アドバイザー業務委託	2,100,000		
大瀬古新町市営住宅建設事業費 計		924,284,844		914,987,000

〔永宮町リノベーション住宅建設事業費〕 2,150,000円

事業区分 (施工箇所)	事業内容	実施額	うち特定財源	
・永宮町の住宅除却	市営住宅除却工事	2,150,000		

目的	市営住宅の安全確保				
指標	耐震補強戸数	目標	112戸 (18年度)	実績	32戸 (15年度 0戸)
説明	耐震診断により、安全性の高い基準を満たすために耐震補強が必要とされた住宅のうち、長期使用中層耐火構造の住宅(茂福団地の1棟32戸)に対し耐震補強を行いました。 上記の耐震補強以外に、将来的に除却予定となっている住宅については必要な耐震対策				

工事を実施しました。(石塚町：28戸、泊が丘：8戸、小鹿が丘：2戸)

〔市営住宅耐震補強事業費〕

33,298,650 円

事業区分 (施工箇所)	事業内容	実施額	うち特定財源	
・耐震補強工事 (茂福団地)	工事請負費 R C 造 4 階建の耐震補 強工事	33,298,650	国庫支出金 市 債 その他特財	15,734,000 15,700,000 1,864,650

〔老朽市営住宅耐震対策事業費〕

4,106,865 円

事業区分 (施工箇所)	事業内容	実施額	うち特定財源	
・耐震対策工事 (石塚町・泊が丘・ 小鹿が丘団地)	工事請負費 木造住宅の耐震対策 工事	4,106,865		